



Official TEST Report 2013/3/4～5 SUZUKA 1st Official test

昨年同様、多くのレースファンと大いに盛上ったファン感謝デーに続いて、2日間の日程で開催された、2013年キックオフとなる第1回スーパーフォーミュラ公式合同テスト鈴鹿。

天候は良いものの、冷たい鈴鹿おろし吹く中のシーズン幕開けとなった。

公式テスト1日目、伊沢選手は車体やエンジンに加え、13年新スペックタイヤの基礎データ取得と、新セットアップの確認やレースモードの検証などを、新メンバーとなった武藤選手は、久しぶりのトップフォーミュラカーに体を慣らしつつ、多岐にわたるテストメニューを、それぞれ消化。

公式テスト2日目の、引き続きシーズンオフ中に開発を進めてきた様々なテストメニューをこなすことに重点を置きながらも、予選アタックやレースシミュレーションなど、実践的なテストも行い、充実した有意義な公式テスト2日間を終えた。

40：伊沢拓也 選手

オフシーズンの間に準備した様々な試みのみならず、新スペックタイヤや、車体及びエンジンの基礎データに及ぶ多項目について、エンジニアと密に検討し準備したメニューをほぼ消化することができ、良い部分も悪い部分も理解できました。

車の状態は非常によく、これまでのチームと共に戦った経験とデータを、チーム総合力のさらなる向上に生かすことができていると感じました。

最終的に、アタックタイミングが悪く トップで終えることはできませんでしたが、2日間にトップグループのタイムを記録でき、手応えを感じています。

今年は昨年よりもさらに食欲に勝ちにこだわって行きますので、引続き皆様の声援をお願いします。

41：武藤英紀 選手

まず、国内最高峰のスーパーフォーミュラに、チャンピオンチームから参戦というチャンスをいただけたことを、ファンの皆様、スポンサーそしてチームに感謝いたします。

スーパーフォーミュラカーは、とにかくアベレージスピードが高く、体を慣らすことから始めました。フィジカル的に相当タフですので、出来ることはすべてやり、次回テストに向けて準備します。

車両については、チームメイトの伊沢選手が常にトップにいることから、不安はありません。このテストで多くのことを学びましたから、車のポテンシャルを引き出し、一歩も二歩も前進できるよう、チームと共に富士テストに臨みます。